広島県後期高齢者医療広域連合の財政状況の公表

～ 令和８年１１月 ～

この「財政状況の公表」は、後期高齢者医療制度の運営にお金がどのように使われているのかといった広域連合の財政状況を皆さんに知っていただくため、毎年５月に下半期分（前年度１０月１日から３月３１日まで）の財政状況と当年度の当初予算を、１１月に上半期分（４月１日から９月３０日まで）の財政状況と前年度の決算状況を「広島県後期高齢者医療広域連合の財政状況の作成及び公表に関する条例」に基づき公表するものです。

今回は、令和８年度上半期（令和８年４月１日から９月３０日まで）の予算執行や財産の状況と令和７年度の決算状況について公表します。

また、主要な予算科目の内容について簡単に説明しています。

令和８年度上半期の財政状況

～予算執行の状況と財産等の概要～

以下で説明する財政状況は、令和８年９月３０日現在で記載しています。

１　令和８年度上半期の歳入歳出予算の執行状況

予算執行状況については次のとおりです。

●一般会計の予算執行状況（令和８年９月３０日現在）

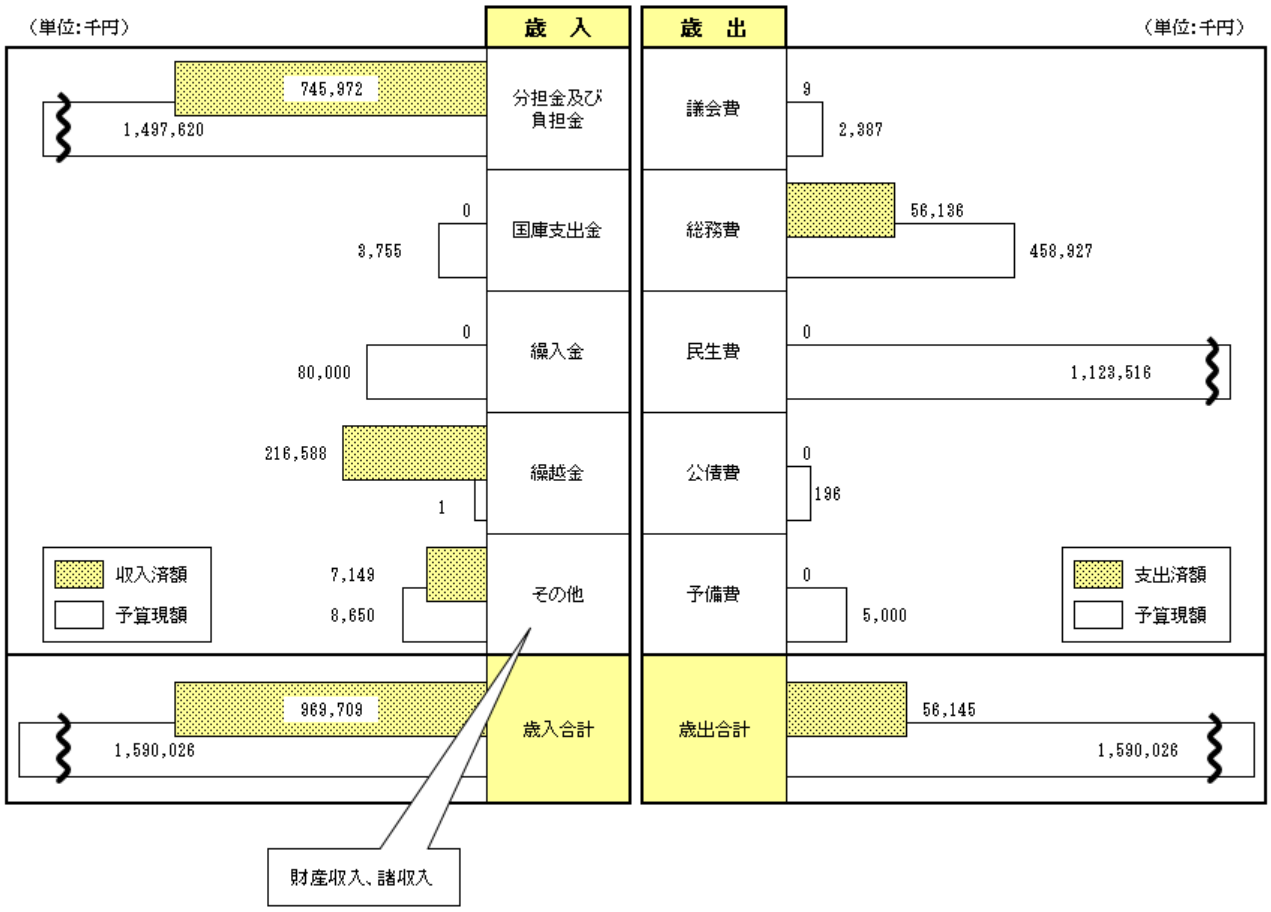
（ 歳　入 ）　　（単位:千円）

区　分	予算現額 (A)	収入済額 (B)	収入率 (B／A)
分担金及び負担金	1,497,620	745,972	49.8%
国庫支出金	3,755	0	0.0%
財産収入	5,169	3,499	67.7%
繰入金	80,000	0	0.0%
繰越金	1	216,588	21,658,800.0%
諸収入	3,481	3,650	104.9%
合　計	1,590,026	969,709	61.0%

（ 歳　出 ）　　（単位:千円）

区　分	予算現額 (A)	支出済額 (B)	支出率 (B／A)
議会費	2,387	9	0.4%
総務費	458,927	56,136	12.2%
民生費	1,123,516	0	0.0%
公債費	196	0	0.0%
予備費	5,000	0	0.0%
合　計	1,590,026	56,145	3.5%

グラフ「令和８年度一般会計予算の執行状況（令和８年９月30日現在）」



（注）上のグラフには、視覚的にわかりやすくしているため、数値と棒グラフの長さの比が合致しない箇所があります。

●後期高齢者医療特別会計の予算執行状況（令和８年９月３０日現在）

（ 歳 入 ）　　（単位:千円）

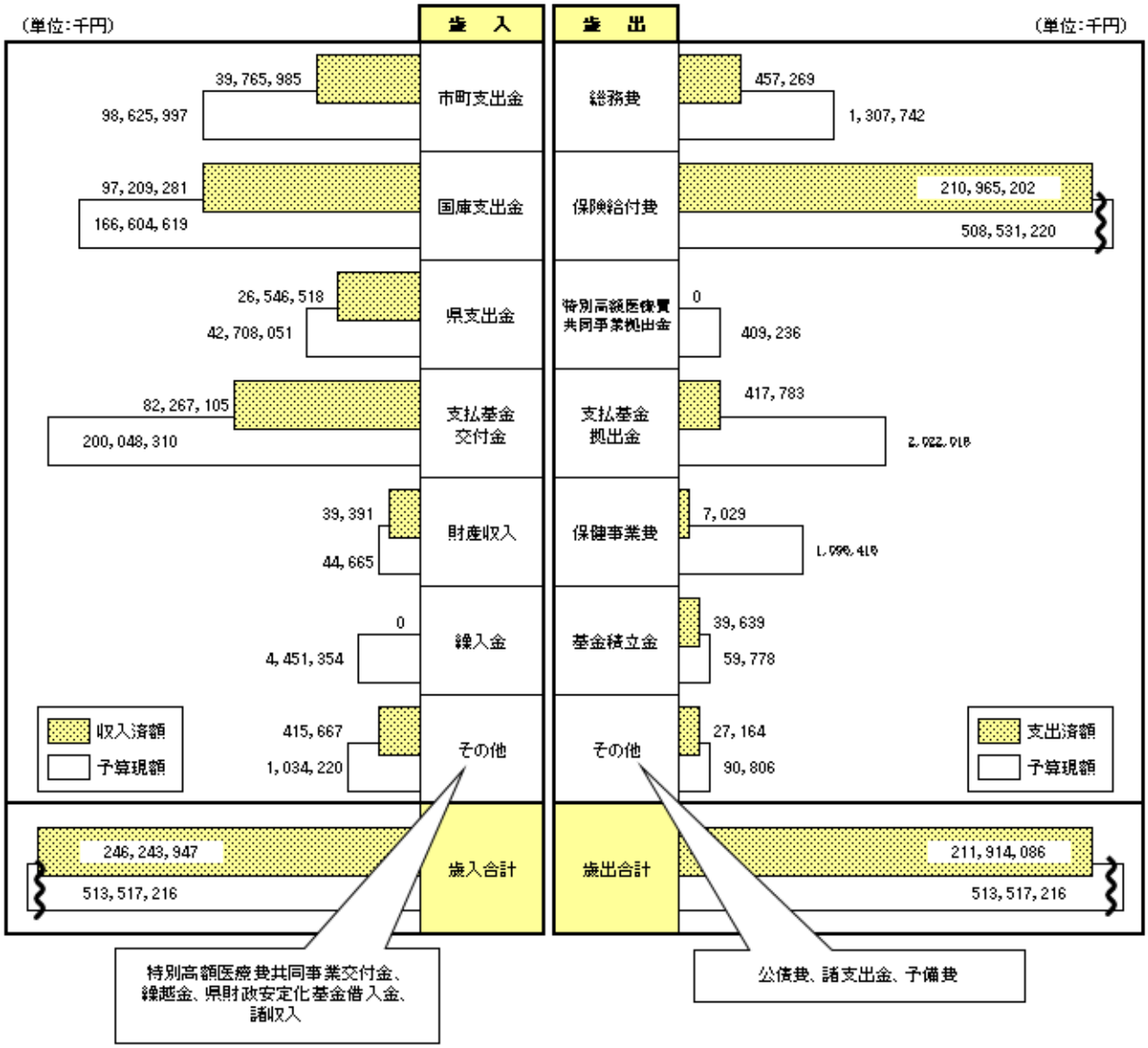
区 分	予算現額 (A)	収入済額 (B)	収入率 (B／A)
市町支出金	98,625,997	39,765,985	40.3%
市町保険料等負担金※	58,806,181	19,855,999	33.8%
国庫支出金	166,604,619	97,209,281	58.3%
県支出金	42,708,051	26,546,518	62.2%
支払基金交付金	200,048,310	82,267,105	41.1%
特別高額医療費 共同事業交付金	359,942	0	0.0%
財産収入	44,665	39,391	88.2%
繰入金	4,451,354	0	0.0%
繰越金	1	87	8,700.0%
県財政安定化 基金借入金	1	0	0.0%
諸収入	674,276	415,580	61.6%
合 計	513,517,216	246,243,947	48.0%

※市町保険料等負担金:市町支出金のうち保険料等についての再掲

（ 歳 出 ）　　（単位:千円）

区 分	予算現額 (A)	支出済額 (B)	支出率 (B／A)
総務費	1,307,742	457,269	35.0%
保険給付費	508,531,220	210,965,202	41.5%
特別高額医療費 共同事業拠出金	409,236	0	0.0%
支払基金拠出金	2,022,018	417,783	20.7%
保健事業費	1,096,416	7,029	0.6%
基金積立金	59,778	39,639	66.3%
公債費	3,905	0	0.0%
諸支出金	61,901	27,164	43.9%
予備費	25,000	0	0.0%
合 計	513,517,216	211,914,086	41.3%

グラフ「令和８年度後期高齢者医療特別会計予算の執行状況（令和８年９月30日現在）」



（注）上のグラフには、視覚的にわかりやすくしているため、数値と棒グラフの長さの比が合致しない箇所があります。

２　広域連合が所有する財産の現在高

令和８年９月３０日現在において、広域連合が所有する財産は次のとおりです。

【 物　品 】

区　分	数量	摘　要
物　品	1	令和３年度財務会計システム一式

（取得価格 1 件 100 万円以上の物品）

【 基　金 】

名　称	金　額 （円）	摘　要
財政調整基金	967,434,907	決算剰余金等を積み立て、不測の支出に備えるための基金
後期高齢者医療給付準備基金	10,529,591,483	徴収した保険料のうち、その年度に余ったものを積み立て、次年度以降の給付に充てるための基金

３　一時借入金及び地方債の借入状況

（１）一時借入金

一時借入金とは、一時的な現金の不足を補うための短期借入金です。

令和８年４月１日から９月３０日までの間の借入れはありませんでした。

（２）地方債（広域連合債）

地方債とは、その償還が借入年度以降にわたる長期の借入金で、多額の事業費の財源を確保し、費用負担の世代間格差を是正するためのものです。

令和８年９月３０日現在において、借入れはありません。

４　住民負担の状況

被保険者に納めていただいた保険料は、医療給付等に要する費用に充てられる「保険料等負担金」として各市町から広域連合に納付されています。

その他に各市町からは、広域連合の運営に要する費用に充てられる「事務費負担金」及び医療給付に要する費用に一定の割合で充てられる「療養給付費負担金」が広域連合に納付されています。

令和８年４月１日から９月３０日における各市町の納付額は、次のとおりです。

（単位：千円）

区　分	保険料等負担金	事務費負担金	療養給付費負担金	合　計
広島市	7,943,815	271,986	7,217,580	15,433,381
呉市	1,756,389	60,356	2,090,490	3,907,235
竹原市	273,413	10,347	274,440	558,200
三原市	861,564	27,092	798,180	1,686,836
尾道市	1,260,768	38,896	1,174,806	2,474,470
福山市	3,479,868	113,996	3,011,580	6,605,444
府中市	387,574	13,512	314,124	715,210
三次市	493,077	16,749	446,256	956,082
庄原市	371,264	13,374	375,996	760,634
大竹市	270,575	10,300	268,236	549,111
東広島市	1,393,903	45,715	1,140,564	2,580,182
廿日市市	1,064,946	31,966	857,274	1,954,186
安芸高田市	293,108	10,944	243,246	547,298
江田島市	253,076	9,928	293,076	556,080
府中町	402,638	14,746	319,320	736,704
海田町	222,503	9,864	174,834	407,201
熊野町	258,550	9,878	215,976	484,404
坂町	102,006	6,368	91,722	200,096
安芸太田町	60,862	5,287	90,150	156,299
北広島町	178,103	8,227	169,434	355,764
大崎上島町	87,536	5,629	93,840	187,005
世羅町	169,145	7,628	152,844	329,617
神石高原町	99,687	5,884	96,018	201,589
合　計	21,684,370	748,672	19,909,986	42,343,028

※令和7年度分の納付額(1,831,072 千円)を含んでいます。

主要な予算科目の内容

1　一般会計

（歳　入）

区　分	説　明
分担金及び負担金	広域連合を構成する 23 市町からの事務費分担金
国庫支出金	広域連合ごとの事情に応じて交付される補助金等
財産収入	財政調整基金の運用利子
繰入金	財政調整基金からの繰入金
繰越金	前年度の決算剰余金の繰越し
諸収入	預金利子等のその他の収入

（歳　出）

区　分	説　明
議会費	広域連合議会の運営に関する経費
総務費	広域連合の運営に関する経費
民生費	後期高齢者医療特別会計の事務費に充てるための繰出金
公債費	一時的な現金不足に対処するため、借り入れる資金に対する支払利子
予備費	不測の支出に備えるための経費

２　後期高齢者医療特別会計

（歳　入）

区　分	説　明
市町支出金	被保険者から徴収した保険料や、被保険者が受けた医療給付の 1/12 相当の公費負担
国庫支出金	被保険者が受けた医療給付の 3/12 相当の公費負担や、広域連合間の財政調整を目的とした調整交付金等
県支出金	被保険者が受けた医療給付の 1/12 相当の公費負担等
支払基金交付金	現役世代からの後期高齢者支援金
特別高額医療費共同事業交付金	著しく高額な医療給付の発生による財政影響を緩和するための交付金
財産収入	給付準備基金の運用利子
繰入金	一般会計、給付準備基金からの繰入金
繰越金	前年度の決算剰余金の繰越し
県財政安定化基金借入金	後期高齢者医療の財政安定化を目的に県が設置する基金からの借入金
諸収入	交通事故などの第三者行為に伴う納付金等のその他の収入

（歳　出）

区　分	説　明
総務費	後期高齢者医療制度の運営に関する経費
保険給付費	被保険者が受けた医療等の医療給付に関する経費
特別高額医療費共同事業拠出金	各広域連合が共同して負担する特別高額医療費共同事業に係る拠出金
支払基金拠出金	後期高齢者医療制度が支援する出産育児支援金等の拠出金
保健事業費	各市町で行う被保険者の健康診査等の保健事業に対する補助金等
基金積立金	給付準備基金への積立金
公債費	一時的な現金不足に対処するため、借り入れる資金に対する支払利子
諸支出金	国庫支出金、県支出金、市町支出金の返還等
予備費	不測の支出に備えるための経費

令和７年度広域連合の決算の状況

１　令和７年度の事業

広域連合では、被保険者に安定した医療給付を実施していくための各種事業を行い、制度の円滑かつ効率的な運営に努めました。

各会計の主な支出は次のとおりです。

●令和７年度一般会計の主な事業

主な経費は、後期高齢者医療特別会計の事務費に充てるための事務費繰出金（869,494 千円）、派遣職員の給料等負担金（304,870 千円）となっています。

●令和７年度後期高齢者医療特別会計の主な事業

主な経費は、被保険者の医療機関等での受診に対する療養給付費を中心とした保険給付費（481,359,629 千円）、後期高齢者医療広域連合が拠出する出産育児支援金（266,108 千円）、市町が行う健康診査事業、歯科健康診査事業、長寿・健康増進事業や低栄養防止・重症化予防等推進事業に対する補助（355,183 千円）、広域連合が行う保健事業・介護予防一体的実施業務委託料（297,258 千円）となっています。

２　令和７年度一般会計の決算状況

歳入決算額	１５億４，８６１万５，８８２円
歳出決算額	１３億３，２０２万７，６４３円
歳入歳出差引額	２億１，６５８万８，２３９円

（１）歳入の状況

令和７年度一般会計の財源構成は、構成市町からの負担金が全体の 99.3%を占めています。

（ 歳　入 ）　　（単位:千円）

区　分	予算現額 (A)	収入済額 (B)	収入率 (B／A)	全体に 占める 割合	前年度 収入済額 (C)	増減 (D＝B－C)	増減率 (D／C)
分担金及び負担金	1,538,502	1,538,502	100.0%	99.3%	1,414,690	123,812	8.8%
国庫支出金	3,793	2,923	77.1%	0.2%	3,691	△768	△20.8%
財産収入	3,252	3,276	100.7%	0.2%	1,159	2,117	182.7%
繰入金	58,467	0	0.0%	0.0%	130,400	△130,400	△100.0%
繰越金	1	0	0.0%	0.0%	141,449	△141,449	△100.0%
諸収入	1,452	3,915	269.6%	0.3%	1,112	2,803	252.1%
合　計	1,605,467	1,548,616	96.5%	100.0%	1,692,501	△143,885	△8.5%

（注）端数処理の都合で全体に占める割合の合計が 100.0%にならない場合があります。

（２）歳出の状況

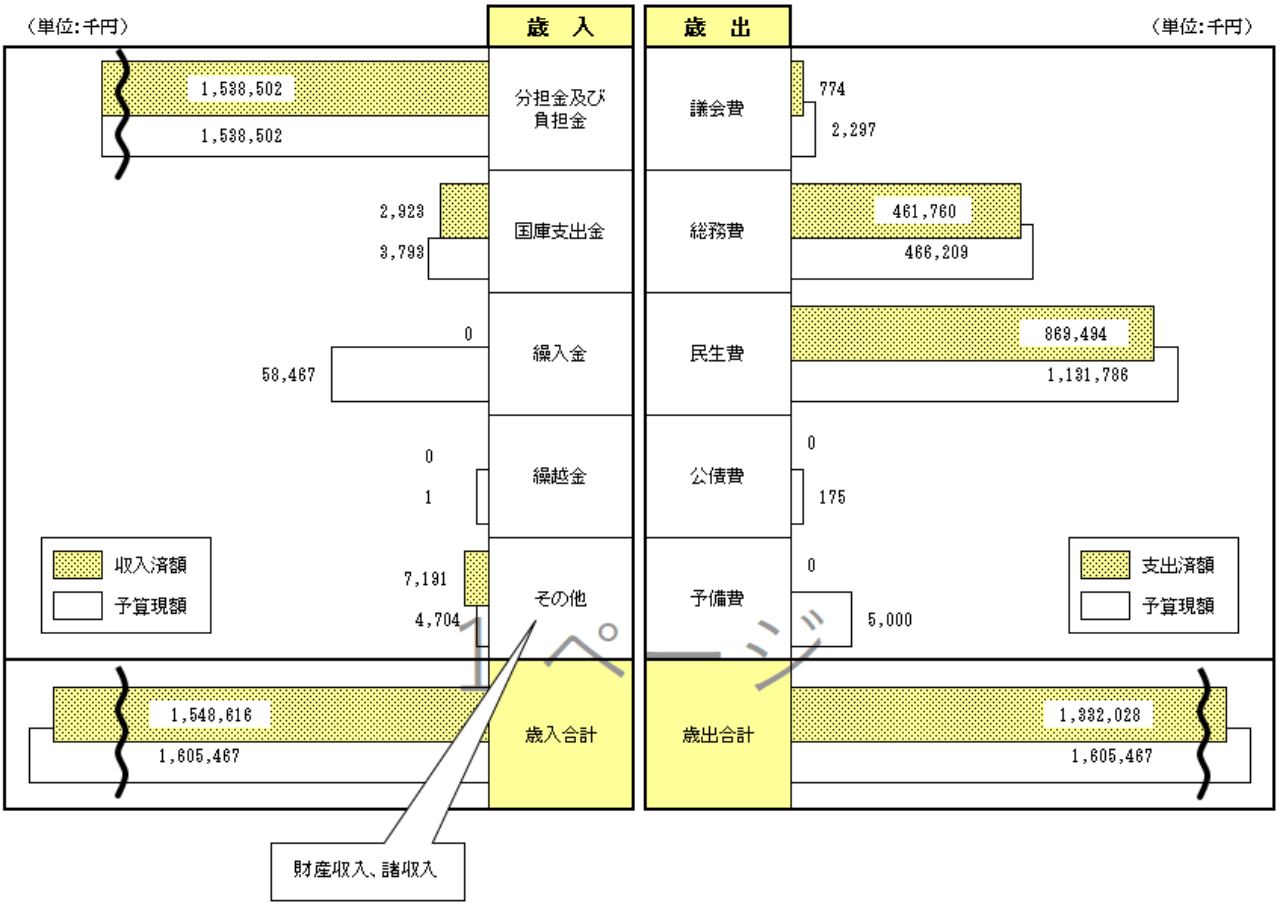
令和７年度の歳出の状況を目的別に見ると、特別会計事務費繰出金等の民生費が 65.3%を占め、次いで広域連合事務局の運営経費である総務費が全体の 34.7%となっています。

（ 歳 出 ）　　（単位:千円）

区 分	予算現額 (A)	支出済額 (B)	支出率 (B／A)	全体に占める割合	前年度支出済額 (C)	増減 (D＝B－C)	増減率 (D／C)
議会費	2,297	774	33.7%	0.1%	774	0	0.0%
総務費	466,209	461,760	99.0%	34.7%	547,899	△ 86,139	△15.7%
民生費	1,131,786	869,494	76.8%	65.3%	1,143,828	△ 274,334	△24.0%
公債費	175	0	0.0%	0.0%	0	0	－
予備費	5,000	0	0.0%	0.0%	0	0	－
合 計	1,605,467	1,332,028	83.0%	100.0%	1,692,501	△ 360,473	△21.3%

（注）端数処理の都合で全体に占める割合の合計が 100.0%にならない場合があります。

グラフ「令和７年度一般会計歳入歳出決算の状況」



（注）上のグラフには、視覚的にわかりやすくしているため、数値と棒グラフの長さの比が合致しない箇所があります。

３　令和７年度後期高齢者医療特別会計の決算状況

歳入決算額　　４，８８２億９，６９６万４，７９９円
歳出決算額　　４，８８２億９，３３７万２，６８７円
歳入歳出差引額　　３５９万２，１１２円
↓
歳入歳出差引額のうち翌年度繰越額　　３５０万４，７６５円
実質収支額（歳入歳出差引額－翌年度繰越額）　　８万７，３４７円

※翌年度繰越額とは、年度内にその支出が終わらない予算について、翌年度に繰り越して使用する予算額のこと。

（１）歳入の状況

令和７年度後期高齢者医療特別会計の財源構成は、現役世代からの支援金である支払基金交付金が全体の 39.4%を占め、次いで国庫支出金が 32.3%、市町支出金が 18.3%、県支出金が 8.5%となっています。

（ 歳　入 ）　　（単位:千円）

区　分	予算現額 (A)	収入済額 (B)	収入率 (B／A)	全体に占める割合	前年度収入済額 (C)	増減 (D＝B－C)	増減率 (D／C)
市町支出金	91,365,424	89,432,669	97.9%	18.3%	86,298,054	3,134,615	3.6%
市町保険料等負担金	52,266,854	51,194,756	97.9%	10.5%	48,581,313	2,613,443	5.4%
国庫支出金	161,187,639	157,748,255	97.9%	32.3%	159,234,255	△1,486,000	△0.9%
県支出金	41,356,811	41,715,314	100.9%	8.5%	40,200,226	1,515,088	3.8%
支払基金交付金	194,127,504	192,608,985	99.2%	39.4%	186,831,433	5,777,552	3.1%
特別高額医療費共同事業交付金	267,681	350,254	130.8%	0.1%	258,982	91,272	35.2%
財産収入	37,839	38,087	100.7%	0.0%	13,003	25,084	192.9%
繰入金	5,143,047	1,883,694	36.6%	0.4%	1,143,828	739,866	64.7%
繰越金	3,794,919	3,794,919	100.0%	0.8%	799,333	2,995,586	374.8%
県財政安定化基金借入金	1	0	0.0%	0.0%	0	0	－
諸収入	569,962	724,788	127.2%	0.1%	538,269	186,519	34.7%
合　計	497,850,827	488,296,965	98.1%	100.0%	475,317,383	12,979,582	2.7%

（注）端数処理の都合で全体に占める割合の合計が 100.0%にならない場合があります。

（２）歳出の状況

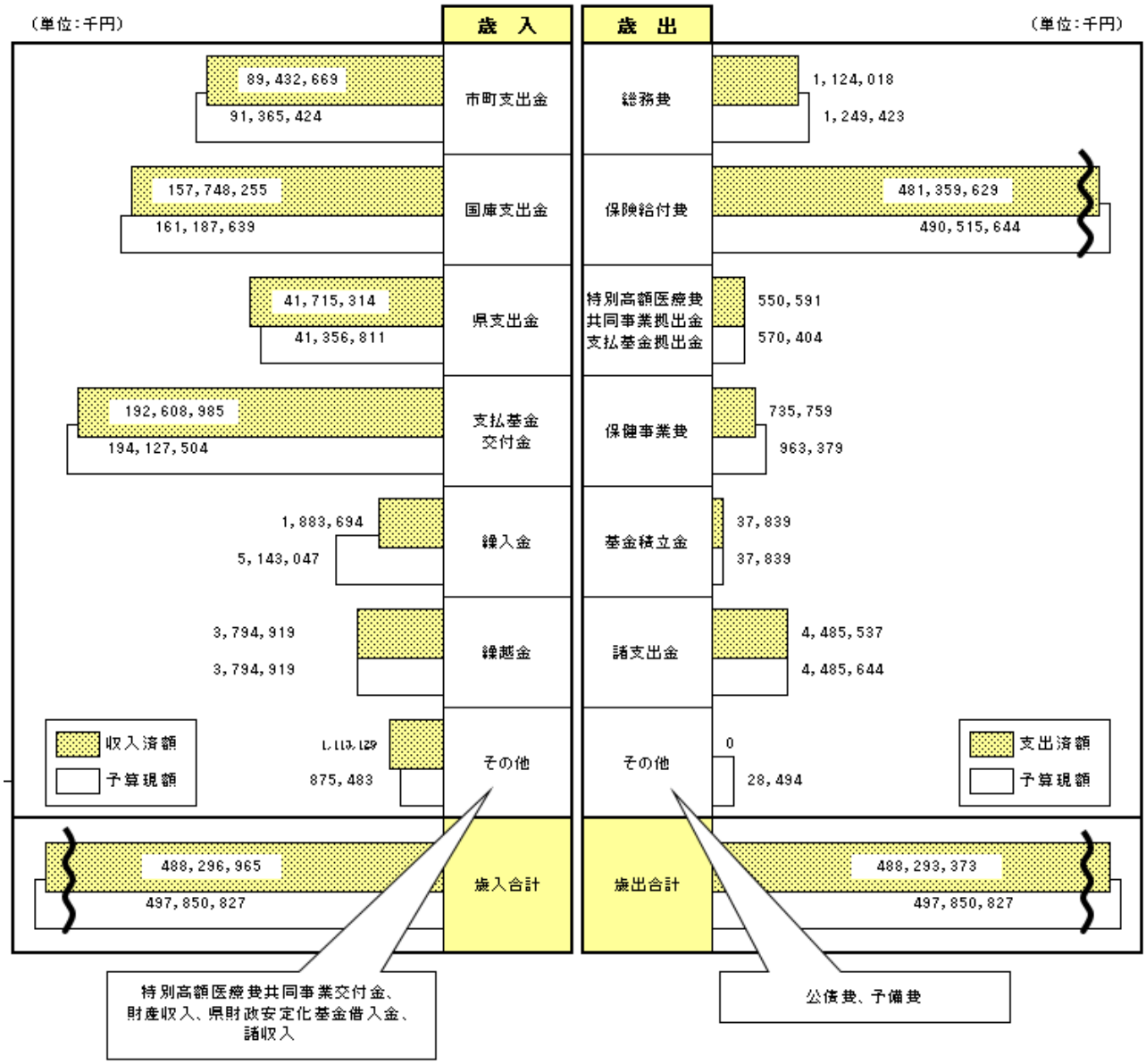
令和７年度の歳出の状況を目的別に見ると、被保険者の医療機関等での受診に対する療養給付費を中心とした保険給付費が全体の 98.6％と歳出総額のほとんどを占め、次いで市町支出金、国庫負担金、県支出金等の返還金、保険料の還付金等の諸支出金が 0.9％となっています。

（ 歳 出 ）　　（単位:千円）

区 分	予算現額 (A)	支出済額 (B)	支出率 (B／A)	全体に占める割合	前年度支出済額 (C)	増減 (D＝B－C)	増減率 (D／C)
総務費	1,249,423	1,124,018	90.0%	0.2%	1,403,118	△279,100	△19.9%
保険給付費	490,515,644	481,359,629	98.1%	98.6%	468,299,327	13,060,302	2.8%
特別高額医療費共同事業拠出金	304,295	284,483	93.5%	0.1%	218,977	65,506	29.9%
支払基金拠出金	266,109	266,108	100.0%	0.1%	0	266,108	皆増
保健事業費	963,379	735,759	76.4%	0.2%	652,319	83,440	12.8%
基金積立金	37,839	37,839	100.0%	0.0%	13,003	24,836	191.0%
公債費	3,494	0	0.0%	0.0%	0	0	－
諸支出金	4,485,644	4,485,537	100.0%	0.9%	935,720	3,549,817	379.4%
予備費	25,000	0	0.0%	0.0%	0	0	－
合 計	497,850,827	488,293,373	98.1%	100.0%	471,522,464	16,770,909	3.6%

（注）端数処理の都合で全体に占める割合の合計が 100.0％にならない場合があります。

グラフ「令和７年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の状況」



（注）上のグラフには、視覚的にわかりやすくしているため、数値と棒グラフの長さの比が合致しない箇所があります。